

# 埼玉県企業のメインバンク、 「埼玉りそな銀行」が 26.7%を占めトップ

「埼玉りそな銀行」「武蔵野銀行」「埼玉縣信金」で全体の約半数占めるが、3大メガバンクや県外勢力も数多くトップ10入り

## 埼玉県・「メインバンク」動向調査(2025 年)



本件照会先

丸山 昌吾、梅林 政文  
帝国データバンク  
大宮支店情報部  
048-729-7702(直通)  
情報部:info.ohmiya@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/01/16

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2025 年の埼玉県企業のメインバンク調査では、「埼玉りそな銀行」が 1 万 7226 社でトップとなり、構成比は 26.7%。次いで、「武蔵野銀行」(12.0%)「埼玉縣信金」(10.5%)と続き、この3つの金融機関で全体の約半数を占めた。3大メガバンクや県外の金融機関も数多くトップ10入りするなか、業種別で県内の銀行、信用金庫6行全てがトップ10入りしたのは『建設』『不動産』、同様に売上高別では『5000 万円以上1億円未満』のみ。地域別では各々拠点を置く地域でシェアを拡大する傾向が強い。

帝国データバンク大宮支店では、2025 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」(全国約 150 万社収録、特殊法人・個人事業主含む)のなかから、埼玉県内企業約6万4600社をもとに、企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。

[注] 本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合があるほか、融資額シェアを直接反映したものではない。

## 概況－トップは「埼玉りそな銀行」で構成比は 26.7%

埼玉県内の企業約 6 万 4600社がメインバンクとして認識している金融機関 1 行(以下、信用金庫等も便宜上「行」と表す)を調べ、その数が多かった上位 20 行の一覧が下の表。

1 位は大手地域金融機関の「埼玉りそな銀行」で 1 万 7226 社、構成比は 26.7%、2 位は「武蔵野銀行」の 7737 社で同 12.0%、3 位は「埼玉縣信金」の 6762 社で同 10.5%となった。上位 3 行の構成比合計は 49.2%となり、埼玉県企業のメインバンクはこの 3 行でほぼ半数を占める結果となった。また、いわゆる 3 大メガバンクの「みずほ銀行」、「三菱UFJ銀行」、「三井住友銀行」がそれぞれ 4 位、5 位、7 位にランクインした一方、県内外の信用金庫が半分を占めた。上位 20 行をメインバンクと認識する県内企業は合計 5 万 7154 社、構成比 88.4%と全体のほぼ 9 割にのぼった。

上位 20 行の本店所在地を都府県別でみると、埼玉県が 6 行、群馬県と栃木県がそれぞれ 2 行、大阪府が 1 行で、それ以外の 9 行はすべて東京都となり、埼玉県に近い神奈川県、千葉県、茨城県に本店を置く金融機関は上位 20 行には入らなかった。

埼玉県内企業のメインバンク上位20行

埼玉県内企業のメインバンク上位20行

順位	金融機関名	本店所在地	社数	構成比	順位	金融機関名	本店所在地	社数	構成比
1	埼玉りそな	さいたま市浦和区	17,226	26.7%	11	青木信金	埼玉県川口市	1,679	2.6%
2	武蔵野	さいたま市大宮区	7,737	12.0%	12	群馬	群馬県前橋市	1,589	2.5%
3	埼玉縣信金	埼玉県熊谷市	6,762	10.5%	13	足利	栃木県宇都宮市	1,240	1.9%
4	みずほ	東京都千代田区	2,826	4.4%	14	栃木	栃木県宇都宮市	1,094	1.7%
5	三菱UFJ	東京都千代田区	2,779	4.3%	15	巢鴨信金	東京都豊島区	1,051	1.6%
6	飯能信金	埼玉県飯能市	2,277	3.5%	16	亀有信金	東京都葛飾区	689	1.1%
7	三井住友	東京都千代田区	2,212	3.4%	17	瀧野川信金	東京都北区	662	1.0%
8	川口信金	埼玉県川口市	2,200	3.4%	18	青梅信金	東京都青梅市	516	0.8%
9	城北信金	東京都荒川区	1,914	3.0%	19	りそな	大阪府中央区	491	0.8%
10	東和	群馬県前橋市	1,805	2.8%	20	東京信金	東京都豊島区	405	0.6%
上位20行合計								57,154	88.4%

## 業種別－県内勢全てランクインは『建設』『不動産』

業種別でみた上位 10 行を集計したものが次頁の表(その他の業種に属する企業を除く)。

いずれの業種においてもトップは「埼玉りそな銀行」となり、『不動産』では構成比が3割を超えた。2 位は『製造』『卸売』『不動産』『運輸・通信』『サービス』が「武蔵野銀行」、『建設』『小売』が「埼玉縣信金」、3位は『建設』『小売』が「武蔵野銀行」、それ以外の5業種が「埼玉縣信金」となり、この 3 行の構成比は業種別でも他を大きく上回っている。4 位と5位をみると、『建設』では県内の「飯能信金」と「川口信金」という2つの信用金庫が入ったものの、他の業種ではメガバンクが入るケースが多く、この『建設』と『不動産』を除く5業種では4位、5位にいずれもメガバンクが入った。

県内に本店を置く銀行、信用金庫の6行全てがトップ 10 にランクインしたのは、『建設』と『不動産』の 2 業

種。他の業種ではメガバンクや県外の金融機関が多くランクインしている。3大メガバンクは『建設』を除く6業種でそれぞれがトップ10入り、メガバンク以外の県外勢でみると、群馬県の「群馬銀行」が7業種中5業種に入ったほか、東京都の「城北信金」が7業種中4業種でランクインした。

業種別メインバンクの数と構成比

業 種 別															
建設				製造				卸売				小売			
順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比
1	埼玉りそな	5,958	26.3%	1	埼玉りそな	1,706	20.5%	1	埼玉りそな	1,592	26.5%	1	埼玉りそな	1,508	28.8%
2	埼玉縣信金	2,954	13.1%	2	武蔵野	952	11.5%	2	武蔵野	750	12.5%	2	埼玉縣信金	656	12.5%
3	武蔵野	2,918	12.9%	3	埼玉縣信金	783	9.4%	3	埼玉縣信金	495	8.2%	3	武蔵野	648	12.4%
4	飯能信金	1,029	4.5%	4	三菱UFJ	477	5.7%	4	三菱UFJ	456	7.6%	4	三菱UFJ	215	4.1%
5	川口信金	1,003	4.4%	5	みずほ	470	5.7%	5	みずほ	425	7.1%	5	みずほ	215	4.1%
6	城北信金	892	3.9%	6	城北信金	389	4.7%	6	三井住友	297	4.9%	6	東和	214	4.1%
7	青木信金	787	3.5%	7	川口信金	357	4.3%	7	川口信金	211	3.5%	7	飯能信金	199	3.8%
8	みずほ	759	3.4%	8	三井住友	319	3.8%	8	城北信金	185	3.1%	8	三井住友	176	3.4%
9	三菱UFJ	734	3.2%	9	巢鴨信金	250	3.0%	9	群馬	163	2.7%	9	群馬	151	2.9%
10	東和	719	3.2%	10	青木信金	247	3.0%	10	飯能信金	156	2.6%	10	川口信金	147	2.8%
合計		22,620	-	合計		8,310	-	合計		6,008	-	合計		5,242	-
不動産				運輸・通信				サービス							
順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比				
1	埼玉りそな	1,397	30.1%	1	埼玉りそな	532	21.8%	1	埼玉りそな	4,281	29.5%				
2	武蔵野	571	12.3%	2	武蔵野	361	14.8%	2	武蔵野	1,440	9.9%				
3	埼玉縣信金	474	10.2%	3	埼玉縣信金	240	9.9%	3	埼玉縣信金	1,102	7.6%				
4	飯能信金	206	4.4%	4	三井住友	128	5.3%	4	みずほ	644	4.4%				
5	みずほ	190	4.1%	5	三菱UFJ	109	4.5%	5	三菱UFJ	584	4.0%				
6	三菱UFJ	174	3.8%	6	みずほ	96	3.9%	6	三井住友	511	3.5%				
7	青木信金	162	3.5%	7	群馬	88	3.6%	7	群馬	369	2.5%				
8	三井住友	141	3.0%	8	城北信金	83	3.4%	8	飯能信金	353	2.4%				
9	川口信金	122	2.6%	9	足利	81	3.3%	9	東和	294	2.0%				
10	群馬	120	2.6%	10	川口信金	78	3.2%	10	川口信金	270	1.9%				
合計		4,638	-	合計		2,436	-	合計		14,532	-				

売上高規模別—小規模は信用金庫、大規模はメガバンクの傾向

売上高規模別に上位10行を集計したのが次頁の表(最新売り上げ数値の判明しない企業を除く)。

こちら「埼玉りそな銀行」が全ての売り上げ規模でトップとなった。2位は最も小さいカテゴリーである『5000万円未満』が「埼玉縣信金」、最大カテゴリーの『50億円以上』はメガバンクの「みずほ銀行」が入り、それ以外の4つのカテゴリーでは「武蔵野銀行」が入った。3位は『5000万円未満』で「武蔵野銀行」、『5000万円以上1億円未満』から『5億円以上10億円未満』の3つのカテゴリーで「埼玉縣信金」、『10億円以上50億円未満』と『50億円以上』という大きい2つのカテゴリーはメガバンクである「三菱UFJ銀行」が入った。規模の小さいカテゴリーでは比較的信用金庫のランクインが目立つ一方、規模の大きいカテゴリーでは3大メガバンクが上位に来ており、規模が大きくなるほどメガバンクが上位に入る傾向にある。

県内の銀行、信用金庫6行全てがトップ10にランクインしたのは『5000万円以上1億円未満』のみ。3大メガバンクはいずれのカテゴリーにおいてもトップ10入りを果たした。県外勢としては、「東和銀行」と「城北信金」が6つのカテゴリーのうちそれぞれ4つ、「群馬銀行」と「足利銀行」はそれぞれ3つランクインした。3つランクインの「群馬銀行」と「足利銀行」は、ともに『5億円以上10億円未満』『10億円以上50億円未満』『50億円以上』のカテゴリーに入った。

## 売上高規模別メインバンクの数と構成比

## 売上高 規 模 別

5000万円未満				5000万円以上1億円未満				1億円以上5億円未満			
順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比
1	埼玉りそな	6,330	26.8%	1	埼玉りそな	2,979	25.2%	1	埼玉りそな	5,141	25.4%
2	埼玉縣信金	2,696	11.4%	2	武蔵野	1,384	11.7%	2	武蔵野	2,665	13.2%
3	武蔵野	2,547	10.8%	3	埼玉縣信金	1,373	11.6%	3	埼玉縣信金	2,138	10.6%
4	三菱UFJ	987	4.2%	4	川口信金	458	3.9%	4	みずほ	799	4.0%
5	飯能信金	969	4.1%	5	飯能信金	451	3.8%	5	三菱UFJ	760	3.8%
6	みずほ	952	4.0%	6	みずほ	446	3.8%	6	川口信金	736	3.6%
7	川口信金	838	3.6%	7	三菱UFJ	423	3.6%	7	城北信金	692	3.4%
8	三井住友	713	3.0%	8	城北信金	413	3.5%	8	飯能信金	686	3.4%
9	東和	690	2.9%	9	三井住友	378	3.2%	9	三井住友	676	3.3%
10	城北信金	643	2.7%	10	青木信金	367	3.1%	10	東和	570	2.8%
合計		23,602	-	合計		11,836	-	合計		20,216	-

  

5億円以上10億円未満				10億円以上50億円未満				50億円以上			
順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比
1	埼玉りそな	1,177	29.7%	1	埼玉りそな	1,202	33.2%	1	埼玉りそな	283	31.2%
2	武蔵野	596	15.1%	2	武蔵野	444	12.3%	2	みずほ	137	15.1%
3	埼玉縣信金	310	7.8%	3	三菱UFJ	289	8.0%	3	三菱UFJ	108	11.9%
4	三菱UFJ	202	5.1%	4	みずほ	275	7.6%	4	三井住友	87	9.6%
5	みずほ	200	5.1%	5	三井住友	208	5.7%	5	武蔵野	70	7.7%
6	群馬	160	4.0%	6	埼玉縣信金	200	5.5%	6	りそな	21	2.3%
7	三井住友	143	3.6%	7	群馬	144	4.0%	7	群馬	18	2.0%
8	足利	119	3.0%	8	足利	105	2.9%	8	埼玉縣信金	15	1.7%
9	城北信金	113	2.9%	9	東和	73	2.0%	9	足利	14	1.5%
10	川口信金	97	2.5%	10	飯能信金	71	2.0%	10	東和	13	1.4%
合計		3,958	-	合計		3,623	-	合計		906	-

## 地域別—各々拠点を置く地域で数を伸ばす

地域別に上位10行を集計したものが次頁の表。

こちらも「埼玉りそな銀行」が全ての地域でトップとなり、次いで、『東部』『北部』において「埼玉縣信金」が、『西部』『南部』において「武蔵野銀行」が2位に入った。3位は『西部』において「飯能信金」が入り、他の地域では「武蔵野銀行」と「埼玉縣信金」が2位と3位を分け合っている格好である。

それぞれの地域でみると、まず『東部』では、東武線沿線に店舗を多く置いている「栃木銀行」が4位、東京都葛飾区に本店を置く「亀有信金」もランクインした。『西部』は、飯能市に本店を置き、埼玉県西部地区に営業網を築いている「飯能信金」が前述のとおり3位、また、東京都青梅市に本店を置く「青梅信金」がランクインした。

『南部』は、川口市に本店を置く「川口信金」が4位、同じく本店が川口市の「青木信金」が5位にランクイン。また、県外勢として東京都内に本店を置く「城北信金」と「巣鴨信金」の2つの信用金庫もランクインした。「北部」では、熊谷市に本店を置く「埼玉縣信金」が前述のとおり2位に。また、群馬県に本店を置く「群馬銀行」、「東和銀行」、栃木県に本店を置く「足利銀行」が入った。このほか、熊谷市に本店を置く「熊谷商工信組」や本庄市内に本店を置く「埼玉信組」がランクインするなど、地域性が表れている。



地域別メインバンクの数と構成比

地 域 別

東 部				西 部				南 部				北 部			
順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比	順位	金融機関名	社数	構成比
1	埼玉りそな	3,788	26.7%	1	埼玉りそな	4,649	24.9%	1	埼玉りそな	5,453	24.5%	1	埼玉りそな	3,336	35.1%
2	埼玉縣信金	1,518	10.7%	2	武蔵野	2,397	12.8%	2	武蔵野	2,948	13.2%	2	埼玉縣信金	1,145	12.1%
3	武蔵野	1,371	9.6%	3	飯能信金	2,214	11.9%	3	埼玉縣信金	2,057	9.2%	3	武蔵野	1,021	10.8%
4	栃木	979	6.9%	4	埼玉縣信金	2,042	10.9%	4	川口信金	1,484	6.7%	4	群馬	1,013	10.7%
5	城北信金	826	5.8%	5	三菱UFJ	1,003	5.4%	5	青木信金	1,446	6.5%	5	足利	605	6.4%
6	三菱UFJ	744	5.2%	6	三井住友	892	4.8%	6	みずほ	1,152	5.2%	6	東和	591	6.2%
7	亀有信金	683	4.8%	7	みずほ	891	4.8%	7	城北信金	1,050	4.7%	7	熊谷商工信組	204	2.1%
8	みずほ	643	4.5%	8	東和	671	3.6%	8	三菱UFJ	969	4.4%	8	埼玉信組	191	2.0%
9	三井住友	457	3.2%	9	青梅信金	514	2.8%	9	三井住友	753	3.4%	9	みずほ	140	1.5%
10	川口信金	362	2.5%	10	川口信金	336	1.8%	10	巢鴨信金	702	3.2%	10	三井住友	110	1.2%
合計		14,213	-	合計		18,658	-	合計		22,251	-	合計		9,496	-

まとめ

今回の結果、例年同様埼玉県企業のメインバンクは「埼玉りそな銀行」がトップで、次いで、「武蔵野銀行」「埼玉縣信金」と続き、この3行で全体の約半数を占めた。業種別や売上高別、地域別においてもこの3行が中心であることに変わりはないが、3大メガバンクや県外勢の金融機関も数多くトップ10入りしており、有望とされる埼玉県のマーケットでは、県内外の金融機関が熾烈な争いを続けている様子が見えてくる。

日本銀行が2024年3月に政策金利の引き上げを表明して以降、金融機関では企業の借り換え局面などで利上げの交渉を進める動きが活発化しており、「金利のある世界」が戻りつつある。実際に、帝国データバンクが全国の企業約103万社・850万期分の決算書データを対象に分析した結果、2024年度決算における平均借入金利は1.20%となり前年を0.16ポイント上回った。2025年12月にはそれまでの0.5%から0.75%へ政策金利が引き上げられており、今後は、各企業の負担感や経済動向にも一層注意が必要な状況となってくるであろう。

こうしたなか、安価な決済口座の維持コストや、迅速な融資決定力を武器にシェア拡大を続けているネット銀行など新興勢力のシェアが近年拡大している。特に創業直後のスタートアップ、事業を承継した若手代表者が経営する企業では、取引銀行の選好条件として金利よりも対応の質やスピードを重視する傾向が強まっている。こうした金融機関との関係性の変化は、現状では企業が集積する都市部に限定されてはいるものの、今後は地方でも広がる可能性がある。預貸で稼ぐ銀行の本業を維持するために、経営地盤で一定の影響力を保つ必要性のある地方の金融機関にとっては、脅威となり得る競争相手が増えることも想定されよう。

2026年には「企業価値担保権」を設定した融資もスタートし、地域金融機関が長年取り組んできた、知的資産や技術力などを測る事業性評価の総合力が試される局面に突入する。また、店舗の統廃合による経営コストの削減といった合理化が進む一方、コンサルティングをはじめ特定の機能に特化した拠点開設の動きも表れてきている。技術やビジネスモデルに対する目利き力、販路拡大、人材育成等々、地域の中小企業が抱える課題にきめ細かく対応できる「良きパートナー」として、メインバンクに求められる役割はさらに広がっていくことが予想される。

## 埼玉県 メインバンクシェア上位60位

2025年

2024年

順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	埼玉りそな	17,226	+95	26.66%	▲ 0.40	1	17,131	+240	27.06%	▲ 0.18
2	武蔵野	7,737	+88	11.97%	▲ 0.11	2	7,649	+210	12.08%	+0.08
3	埼玉県信金	6,762	+141	10.46%	±0.00	3	6,621	+154	10.46%	+0.03
4	みずほ	2,826	▲ 24	4.37%	▲ 0.13	4	2,850	▲ 37	4.50%	▲ 0.16
5	三菱UFJ	2,779	▲ 21	4.30%	▲ 0.12	5	2,800	▲ 18	4.42%	▲ 0.13
6	飯能信金	2,277	+41	3.52%	▲ 0.01	6	2,236	+44	3.53%	▲ 0.01
7	三井住友	2,212	+15	3.42%	▲ 0.05	7	2,197	▲ 10	3.47%	▲ 0.09
8	川口信金	2,200	+68	3.40%	+0.03	8	2,132	+62	3.37%	+0.03
9	城北信金	1,914	+15	2.96%	▲ 0.04	9	1,899	▲ 14	3.00%	▲ 0.09
10	東和	1,805	+2	2.79%	▲ 0.06	10	1,803	+4	2.85%	▲ 0.05
11	青木信金	1,679	+17	2.60%	▲ 0.03	11	1,662	+43	2.63%	+0.02
12	群馬	1,589	▲ 17	2.46%	▲ 0.08	12	1,606	▲ 28	2.54%	▲ 0.10
13	足利	1,240	▲ 21	1.92%	▲ 0.07	13	1,261	▲ 13	1.99%	▲ 0.06
14	栃木	1,094	▲ 6	1.69%	▲ 0.05	14	1,100	▲ 4	1.74%	▲ 0.04
15	巣鴨信金	1,051	+3	1.63%	▲ 0.03	15	1,048	+20	1.66%	±0.00
16	亀有信金	689	+11	1.07%	±0.00	16	678	▲ 1	1.07%	▲ 0.03
17	瀧野川信金	662	▲ 2	1.02%	▲ 0.03	17	664	▲ 4	1.05%	▲ 0.03
18	青梅信金	516	▲ 4	0.80%	▲ 0.02	18	520	+7	0.82%	▲ 0.01
19	りそな	491	+10	0.76%	±0.00	19	481	▲ 13	0.76%	▲ 0.04
20	東京信金	405	▲ 4	0.63%	▲ 0.02	20	409	+10	0.65%	+0.01
21	きらぼし	237	▲ 8	0.37%	▲ 0.02	21	245	▲ 7	0.39%	▲ 0.02
22	大光	219	+2	0.34%	±0.00	24	217	▲ 8	0.34%	▲ 0.02
23	足立成和信金	218	▲ 3	0.34%	▲ 0.01	23	221	+4	0.35%	±0.00
24	朝日信金	214	▲ 8	0.33%	▲ 0.02	22	222	+4	0.35%	±0.00
25	西武信金	210	+8	0.32%	±0.00	26	202	▲ 9	0.32%	▲ 0.02
26	熊谷商工信組	208	+5	0.32%	±0.00	25	203	+5	0.32%	±0.00
27	ゆうちょ	195	+10	0.30%	+0.01	28	185	+13	0.29%	+0.01
28	埼玉信組	191	▲ 2	0.30%	±0.00	27	193	▲ 4	0.30%	▲ 0.02
29	東京東信金	178	▲ 2	0.28%	±0.00	29	180	▲ 7	0.28%	▲ 0.02
30	東日本	167	▲ 9	0.26%	▲ 0.02	30	176	▲ 5	0.28%	▲ 0.01